

圧倒的なボリュームで
出荷箱数過去最高を達成

スプリングアース

PVP レタス

今回取材した生産法人様では、生産されるレタスの全量を加工業務契約出荷されています。ハウスを活用して2月から出荷を開始、トンネル・露地作まで出荷を継続します。「スプリングアース」は2019年のご試作結果にご満足頂いてから、翌2020年に正式に採用となりました。採用の決め手は、過去に採用したいくつもの品種の中で期間中の最高出荷箱数を達成(2年連続)した圧倒的なボリュームでした。

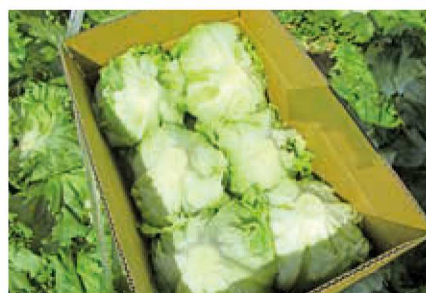
品種登録番号:第26484号
登録品種名:WN-LL750
育成者権者:渡辺農事(株)
登録品種期限満了:2043年1月30日
海外持出禁止(農林水産大臣公示)



「スプリングアース」採用の理由その① 圧倒的なボリューム感と圃場歩留

同法人様では、写真のような12玉(6玉×2段積み)での出荷が最も箱数を稼ぎやすい出荷規格です。「スプリングアース」は低温条件下でもしっかりと球伸びするためこの12玉での出荷が多く、結果、全体の箱数を押し上げました。また、「スプリングアース」はべと病を始めとする病害害によるロスが少なく、レタスの圃場歩留まりが高かったことも箱数が増えた要因と言えます。

12玉での出荷が多い「スプリングアース」
12月6日播種、4月3日収穫 露地トンネル作



「スプリングアース」採用の理由その② 安定した結球性とスピード

低温条件でも外葉が旺盛に生育しボリュームが出ることに加え、結球安定性が高いことも「スプリングアース」が評価された理由の一つです。2、3月のハウス作では、結球の安定と合わせて内部充実も程よく進み、対象品種よりも収穫が早いので、出荷スケジュールが計算しやすいことも「スプリングアース」の魅力です。



「スプリングアース」10月22日播種、3月1日の状態 ハウス作

「スプリングアース」採用の理由その③ ハウス～露地まで幅広く使える

「スプリングアース」は低温時のハウス作における球伸びと結球の安定性に加え、逆に温度がかかっても暴れが少なく形状が安定している点で評価を頂いています。また、露地(トンネル)の3、4月どりの作型においても、外葉が旺盛にできることで球伸びを確保しながら、内部充実がじっくり進むことで球内部が硬く締まり過ぎるリスクを低く抑えられる点も「スプリングアース」の魅力の一つです。今後は、年明け収穫のハウス作においても適性を見極めていく予定です。

「スプリングアース」
12月6日播種、4月3日の状態 露地トンネル作



詳しい作型、特性は22ページをご参照頂くか、営業担当までお問い合わせ下さい。